

岸本充生 大阪大学データリテラシティ機構 教授/社会技術共創研究センター長

〈専門分野〉 リスク学、政策評価、費用便益分析

「ゲノム合成」に関して、最も関心のある/重要と考えるテーマ・論点・事象など

- また、規制のあり方、その国際的な差異や調和の動向についても関心があります。
- 様々な新規科学技術のELSIを考えるうえで、ゲノム解析はELSI概念が生まれたテーマであり、ゲノムの解読、情報利用、操作や合成に関するELSI動向についてウォッチしています。

ご自身の最近の活動として、最も関心のある/あるいは周囲でホットなテーマなど

- 医療と非医療の境界があいまいになりつつあるなかで、研究倫理審査を含む、データ利活用に対するELSI対応に見られる大きなギャップを埋めたい。
- 一つの重要なアプローチが "risk based approach"¹であり、他分野でのこれまでの経験を生かした、事前のリスク評価・管理・コミュニケーションのアプローチを確立したい。

〈活動紹介〉

- ・ 電通報「生活者・データビジネス従事者のELSI課題意識を読み解く」
<https://dentsu-ho.com/articles/8297>
- ・ NHK「視点・論点」 「ELSIとは何か」 (2022年12月21日)
<https://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/400/477385.html>